

令和 7 年 3 月 1 0 日

保護者 様

加古川市立氷丘中学校
校長 加 藤 勉

令和 6 年度 学校アンケートの結果について

啓蟄の候、皆様におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素は、本校の学校教育にご協力とご理解を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、1 月中旬から実施しました保護者アンケート及び、生徒、教員によるアンケートの結果の概要を下記のとおりご報告いたします。

また、本結果については、学校評価部会並びに学校運営協議会での委員の皆様のご意見を踏まえて次年度の教育活動に生かしてまいります。

記

(1) 生徒アンケート結果から

- ・校訓を指標とした分析を行った結果、友愛、正義、感恩に関しては昨年度同様高い数値を示し、本校生徒の真面目さや素直さ、友だちや周囲の人への優しさや思いやりの心が育っていることがわかりました。
- ・設問別では、「友だちに会うのは楽しいと思う」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」「友だちや支えてもらっている人に感謝し『ありがとう』の気持ちを伝えている」などが、昨年同様とりわけ高い数値となりました。いじめはだめだと思っている生徒が多く、周囲との人間関係も良好で、家族や友だちに感謝の気持ちを伝えることができる生徒が多いことが示されています。
- ・自主、創造、奉仕に関しては、平均的な数値でしたが、「自分で考えた言葉や表現を使って、他者に伝えることができる」の数値が伸びており、協同的探究学習の成果が感じられます。また、「行事予定や生活ノートを活用するなど、見通しをもって生活している」の数値も伸びています。一方で、平日にゲーム等を 2 時間以上する生徒が 52% (R5 は 57%) いることは、昨年度より少なくはなりましたが、引き続いての課題です。家庭での学習時間は昨年と同様でした。

(2) 保護者アンケート結果から

- ・「学校の取組について」は、学校教育目標の実現に向けた教育活動、適切な情報提供に昨年度同様の高い評価をいただいています。引き続き、次年度も継続していきたいと考えます。
- ・子どもたちのトラブルやいじめ未然防止・早期対応、不登校対応や支援については平均的な数値でした。生徒一人一人に寄り添った適切な支援を一層心掛けてまいります。
- ・「家庭での教育について」は、勉強や進路、悩み事の相談、いじめはどんな理由があってもいけないことだと話をしておられるご家庭が昨年度同様に多いことがわかりました。前述の生徒アンケートの結果につながっているものと思います。
- ・家庭学習の習慣や見通しをもち計画的に生活すること、読書習慣に課題が見られました。学校と家庭のより一層の連携が必要であると考えます。

(3) 教員アンケート結果から

- ・「授業改善の達成度」では、授業の学習規律を成立させることや、生徒理解に基づく指導を心がけているという観点で高い数値となりました。今後も継続してまいります。
- ・教材・教具の工夫やねらいを明確にした授業を行うことの数値が伸びており、わかる授業をめざし、創意工夫した授業を行っていることが示されています。
- ・「主体的・対話的で深い学び」を促す授業や ICT を有効活用した授業改善には、まだ課題があると考えます。学校全体として、研修や授業研究の取組を次年度も継続する必要があると考えます。
- ・法令の遵守や信頼を得ようとする意識が高いことがわかりました。今後も現状に満足せず、資質向上に努めてまいります。